



地方独立行政法人広島市立病院機構 安佐市民病院広報紙 —第45号—

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目 1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>



安佐市民病院事務長
高本 彰彦

事務長就任2年目を迎えて

うらかな春の陽ざしが降り注ぐ季節となり、あちこちから桜の便りが届く今日この頃となりました。早いもので、昨年4月にこの安佐市民病院の事務長を拝命して1年が経過しました。私にとって病院勤務は初めてのことであり、最初は何もわからず戸惑う日の連続でしたが、院長、副院長を始め、多くのスタッフ、そして地域の皆さんに支えられ今日を迎えられますことに感謝しています。

ご承知のとおり、当院は昭和55年5月の開設以来、今日まで広島北部地域における中核病院として重要な役割を担っており、新入院患者数、手術件数など着実に増えています。

こうした中、病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応し、これまで以上に質の高い医療を安定的に提供していくため、昨年4月、広島市立4病院は地方独立行政法人が運営する病院として新たにスタートしました。

引き続き、職員が一丸となって患者さんに安全で安心な医療と快適な療養環境の提供に努めるとともに、地域医療、救急医療の水準の向上や最新の医療に取り組んでまいります。事務部門における責任者として微力

ながらこれらをサポートしていきたいと考えています。

当院が地域に根差した中核病院として維持していくためには、効率的な病院運営を行うことにより経営の安定化を図ることが何よりも重要です。この課題に総合的に対応していくための一つの取組みとして、今年度、病院の中に企画課を新設しました。企画部門の機能強化により、病院経営に関する様々な情報収集、データ分析などを迅速かつ一元的に処理し、将来に向けて経営の安定に資する施策の企画立案などを行うこととしています。

また、これまで当院に勤務する職員、入院・外来患者さんなどからの要望にお応えして、この5月を目標に売店、食堂等がリニューアルオープンする運びとなり、これに併せてコンビニが新店する予定です。営業時間も拡大し利便性が向上することから、職員をはじめ利用者の皆さんに喜んでいただけるものと思います。

事務長として私が日頃から心がけていること、それはフットワークを軽くしていろいろな声にできるだけ耳を傾けることです。人やお金の制約などにより、なかなか望みどおりできないことがたくさんありますが、できない理由を考えるより、もしそれが本当に必要なのであれば、できるようにするための方策をみんなで検討し、実現に向けて努力していくことが大切なことだと思います。誰からも信頼される病院の構築を目指して、これからも努力してまいります。

【病院機能評価】

安佐市民病院の理念と基本方針

理 念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得 にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。



アレルギー性鼻炎 について

耳鼻咽喉科副部長 羽嶋 正明



アレルギー性鼻炎は鼻にアレルギーの原因となる物質が入ると、くしゃみ、鼻水、鼻づまりが起こる病気です。ダニやハウスダストなどによっておこる通年性アレルギー性鼻炎と花粉症など季節性アレルギー性鼻炎があります。アレルギーは体質が関係しており、鼻炎以外にも喘息や皮膚炎などさまざまな場所に病気を起こします。

診断について

症状：反復するくしゃみ、水っぽい鼻水、鼻づまり

鼻の診察：副鼻腔炎や急性鼻炎など他の疾患との鑑別、合併を知る上で大切な検査です。

鼻汁の検査：アレルギー性鼻炎では鼻水の中に好酸球と呼ばれる細胞が多くなります。

血液検査：アレルギーの原因を血液を使って調べます。一週間程度かかる検査です。

《治療について》

1.原因対策

治療の根本はまず原因をできるだけ取り除くことです。患者さんだけができることであり、治療の第一歩となります。

ハウスダストやダニへの対策

- ・掃除機がけは1平方メートルを20秒かけて掃除すると効果的と言われています。フローリングなどのホコリのたちやすい場所は、拭き掃除の後に掃除機をかけるとよいでしょう。
- ・布ばりのソファ、カーペットはできるだけ避けましょう。
- ・ふとんは週に2回以上干したり、ふとん乾燥機を使いふとんの湿気を減らしましょう。また週に1回以上掃除機をかけましょう。シーツ、ふとんカバーは週に1回以上洗濯しましょう。
- ・部屋の湿度はおよそ50%、室温は20～25℃に保つのがよいといわれています。

すぎ花粉への対策

- ・花粉情報をチェックしましょう。
- ・飛散の多い時の外出を控え、外出時にはマスク、眼鏡を使いましょう。
- ・毛織物など表面が毛羽立った服は避けましょう。
- ・帰宅時は衣服や髪をよく払ってから入りましょう。
- ・飛散の多い時は窓、戸を閉めておきましょう。
- ・飛散の多い時のふとんや洗濯物の外干しは避けましょう。
- ・掃除は特に窓際を念入りにきれいにしましょう。



2.薬物療法

原因対策をおこなってもなかなか改善しない場合はお薬を使います。

ただし、薬はあくまでも症状を抑えるのが目的で、症状がとれたからといってすぐにお薬を中止すると再び症状がでてきてしまいます。内服薬および点鼻薬があり、またそれぞれにも様々な種類の薬があります。くしゃみ、鼻水、鼻づまりの症状の程度や眠気などの副作用に応じて使い分けています。

また、花粉症では重症例である場合、花粉飛散開始予測日あるいはその一週間前から治療を開始した方が効果的です。

3.アレルギー免疫療法

アレルギーの治療のなかで唯一根本的に治る可能性のある治療です。

ただし長期にわたった通院が必要なことや、まれに全身的な副作用があることがデメリットと言えます。現在はアレルギー免疫療法の一つとして舌下免疫療法が2014年度から開始されています。

4.手術療法

これら保存的な治療にて改善の認められない場合、レーザーなどで鼻の粘膜を焼き、腫れを引かせる手術があります。レーザーによる手術は外来で日帰りですることができます。

ピロリ専門の外来を 開設しました



内視鏡内科部長 上田 裕之

日本人の約半数（50歳以上では約70%の人）が感染しているピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）は、胃の中に住んでいるらせん形の細菌で、胃がんの発生と深く関わっていることがわかっています。やっかいなことに、ピロリ菌に感染していても無症状であることが多く、ほとんどの人は感染していることに気づいていません。そんなピロリ菌に感染しないことが最も望まれますが、感染してしまっている人でも、除菌療法によって胃がん発生のリスクを減少させることができるとわかってきています。特に、菌による胃粘膜の変化が進行してしまう前での除菌療法が勧められていますので、早ければ早いほど有効とすることになります。

従来、わが国では、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、胃がん内視鏡治療後などにピロリ菌感染が合併している患者さんだけの除菌治療に公的医療保険が適応されていました。2013年2月より、胃炎を内視鏡で確認できた患者様でピロリ菌感染が確認された場合は、すべて除菌治療に保険が適応されるようになりました。すなわち、内視鏡検査さえ行えば、ほとんどの患者さんが保険で除菌できるようになりました。これにより、胃がんリスクを減らす目的での治療ができるようになったわけです。但し、内視鏡検査を受けないで除菌を希望される場合、感染の有無だけの検査を希望される場合や、二次除菌が不成功で三次除菌を希望される患者さんは、保険で治療が出来ません。そのような患者さんは保険適応外のため自由診療となり全額自己負担となります。



ヘリコバクター・ピロリ

ピロリ菌の検査を受けてみたかったがその機会がなかった方や、家族や親せきに胃がんの人がおられる方、ピロリ菌感染がわかっていて除菌治療を受けたい方、除菌が不成功で困っている方などの相談窓口として、ピロリ菌専門外来を2014年4月より開設いたしました。お困りの患者さんやピロリ菌に興味がある患者さんがいらっしゃいましたら、かかりつけ医にご相談ください。

リンパ浮腫の予防とケアについて

リンパ浮腫という言葉を目にしたことがありますか？

がんの治療(手術でリンパ節を切除、放射線照射、化学療法など)でリンパの働きに障害が起きるとリンパ浮腫を発症してしまいます。治療後比較的早期から発症する人もいれば、10年以上経過してから発症する人もいますが、がんの治療を受けた全ての患者さんに必ず発症するわけではありません。しかし一度発症すると治りにくいという特徴があります。軽いむくみであれば、自己管理をしながら普通の生活を送ることができますが、重症化すると生活に支障を来すことがあります。ではリンパ浮腫を起こさないためにはどのようなすればいいのでしょうか。ポイントは早期発見と早期治療の2つです。早期発見のためには毎日ご自分で触ってみることが一番大切です。ささいな変化に気づくことで早期に対応できます。発症後は早い時期から治療を始め、悪化を防ぐことが重要です。患者さん本人がリンパ浮腫のリスクや早期発見の方法を知っておくことが大切です。

治療の進歩により、がんと共に生活する人も増え、今では慢性疾患になりつつあるとも言われています。がんをかかえて生活する期間が長くなり、その生活の質に目が向けられるようになりました。そこでリンパ浮腫の治療も注目されるようになり、リンパ浮腫の治療やケアが発展してきました。筆者も2014年度に医療リンパドレナージセラピストの資格を取得いたしました。セラピストは医師の指示のもと、患者さんに指導したり弾性着衣の選択やリンパドレナージとってむくみに直接手あてをしたりします。今後は医療者にもリンパ浮腫の知識を十分持ってもらおうよう働きかけ、困っている患者さんが一人でも多く笑顔になるように活動してまいります。

当院ではまだ専門外来など開設することが出来ていませんが、お困りの方はがん相談支援センターをお訪ねください。

がん性疼痛認定看護師

日本医療リンパドレナージ協会公認 医療リンパドレナージセラピスト 升田 志保

床ずれを予防しましょう!!

【床ずれはどうしてできるのでしょうか？】

床ずれはいろいろな原因が、複数からまってできます。

- ・皮膚が乾燥している。
- ・尿などで常にしめっている。
- ・やせている。
- ・長時間同じ体勢で寝ている。

などです。これらの状況が重なると、お尻の出っ張った所に圧力が集中し尾骨部など赤黒くなり、気づかない内に床ずれができてしまいます。そして、昨日はなかったのに今日見たらできているなど、床ずれは1日でできます。

【どうすれば床ずれを予防できるのでしょうか？】

まずは、ベッドのマットレスを軟らかいものに変えましょう。特に寝たきりでご自分で寝返りができない方であれば、高機能のエアマットレスと言われる空気で膨らみ自動で圧力を調整してくれるマットレスにすると良いでしょう。そして軟らかい素材のクッションを使い体の向きを変えてあげましょう。同じ部位に長時間の圧力をかけないようにすることが大切です。クッションは使いやすいご自宅にあるもので良いです。また、最近ではマットレスそのものが少し傾いて体の向きを自動で変えてくれるものもあります。こういった製品は介護用品の販売店で取り扱っています。

【次に皮膚のケアです】

床ずれは尾骨部にできやすいので、オムツの中の皮膚を清潔にし、保護していくことはとても大切なことです。ただ、おしもの世話は介護者にとっても、またご本人にとっても心身共に苦痛を伴うものです。できるだけ簡単で楽にできるようにいろいろなケア用品や介護用品を活用していくと良いと思います。また、オムツはその方にあつた種類やサイズを選び、パッドは排泄量や交換頻度に合つた吸収力、通気性のあるものを選択することが重要です。オムツは、正しく当てることで尿便の漏れは少なくなり、お尻周りがスッキリとします。最近では、皮膚に優しく簡単に汚れを取り除くことのできる洗浄剤や、皮膚を汚れにくくするような保護材もあるので、使用するとよいでしょう。これらは調剤薬局や一般薬局で販売してあります。

床ずれは気付かないうちにできてしまい、できてしまうと治りにくいものです。がんばって床ずれ予防に努めましょう。

皮膚・排泄ケア認定看護師 神田光太郎

高額療養費制度が変わりました!

高額療養費制度とは、病院に支払う医療費が1カ月に自己負担限度額を超えた場合、超えた金額が戻ってくる制度です。平成27年1月から健康保険制度改正により自己負担限度額が変更になる方がいます。

詳細は下記表をご確認ください。

所得区分		自己負担限度額	多数該当(※2)
ア	年収約1,160万円～の方 健保：標準報酬月額83万以上 国保：年間所得(※1) 901万円超	252,600円+ (医療費-842,000円) × 1%	140,100円
イ	年収約770～1,160万円の方 健保：標準報酬月額53万～83万 国保：年間所得600万円超901万円以下	167,400円+ (医療費-558,000円) × 1%	93,000円
ウ	年収約370～770万円の方 健保：標準報酬月額28万～53万 国保：年間所得210万円超600万円以下	80,100円+ (医療費-267,000円) × 1%	44,400円
エ	年収約～370万円の方 健保：標準報酬月額28万以下 国保：年間所得210万円以下	57,600円	44,400円
オ	住民税非課税	35,400円	24,600円

※1 ここでいう所得は基礎控除後の総所得金額のことを指します

※2 同一世帯で1年間(直近12か月)の間に高額療養費の支給回数が4回以上になった場合、4回目から多数該当の扱いになり、自己負担限度額が軽減されます。

※3 差額ベッド代、食事代、保険外の負担分は対象となりません。

※4 申請窓口は各保険者になります。

総合相談室では、高額療養費教室を毎月第2火曜日15時30分から、南館1階にある患者サロンで開催しています。患者さん、家族の方、どなたでも参加できますのでご利用ください。

なお、個別相談を希望される場合は予約にて承ります。総合相談室 医療ソーシャルワーカーにお尋ねください。

がん患者サロン「すずらん」のお知らせ

当院では、毎月がん患者さんやご家族の方を対象にがん患者サロン「すずらん」を開催しています。

みなさんが、病気や治療法の知識・情報を得ることで治療への意欲、不安の解消につながり、また、患者さん自身の健康な生活を再建する一助となることを目的としています。

申し込みは不要です。お悩みの方はお気軽に参加してみてください。

開催日時： 毎月第3木曜日 14時～15時
会場： 患者サロンまたは講堂等、随時調整
利用方法： 原則自由参加 利用料無料
問い合わせ： 082-815-5211(代) 患者サロン

詳しくは、院内のちらしまたは電話でお問い合わせください。



2015年度 上半期予定表

4月16日	みんな気になる! 相続について	行政書士 本橋 敦子 先生
5月21日	もっと知りたい! 婦人科がんについて	産婦人科 谷本 博利 部長
6月18日	試してみよう! ウィッグについて	スヴェンソン 西日本統括エリアマネージャー 井上 よりこ 先生
7月16日	もっと知りたい! 血液のがんについて	血液内科 田中 英夫 主任部長
8月20日	知っておいてほしい! 医療費について	総合相談室 藤山 史恵 MSW
9月17日	もっと知りたい! 大腸がんについて	外科 吉満 政義 部長

